



4クラスだより



いちご組（0歳児）

ようこそ埼玉保育園へ！！入園おめでとうございます。ある日突然、未知の世界に身を置いた子ども達。外に出れば大海原に飛び込むようにハイハイして大移動したり、砂や石の感触を楽しんで自由に遊ぶ頼もしい姿もあれば、抱っこされている時、小さな手で保育士のエプロンをぎゅ〜っと握りしめて離せない…といった不安を感じられる姿も。そして、そうこう過ごしていた後の待ち望んでいたお母さんとの再会。その時の喜びと安堵に満ちた子ども達の表情からは、今まで築き上げてきた親子の絆を垣間見ることが出来て私にとっても微笑ましい一コマでもありました。園でも子ども達に「安心して大丈夫だよ」のメッセージを日々、心と体で繰り返し伝えながら個々に合った心地良いリズムを大切に過ごしていきたいと思っています。家庭と園で手を繋ぎながら子ども達の育ちを見守っていききたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します（武井）



さくら組（1歳児）

入園・進級おめでとうございます。新入園児4名、在園児4名、合計8名でスタートしました。新しい部屋、新しい友だち、保育士と環境が変わったことで戸惑い大泣きしたり、不安でいつも以上に抱っこを求めてきたりする子もいます。不安と緊張、そして見知らぬ世界をちょっとだけ見てみたいというワクワク…とたくさんの子どもの表情が見られました。子ども達のさまざまな気持ちを受けとめながら愛情を持って一人ひとりの子ども達を見守っていききたいと思います。慣れない環境で心身共に疲れていると思いますので保育園から帰った後はご家庭でゆっくり過ごして下さい。

新しい環境になり不安な気持ちの保護者の方もいると思います。気になることや心配なことがありましたら遠慮しないで何でもお声掛けください。一年間どうぞよろしくお願い致します。（増田）



ちゅうりっぷ組（2歳児）

入園・進級おめでとうございます。新しい部屋やマークに興味津々な子ども達。マークを見て帽子の出し入れをしたり、オムツを引き出しから持って来たりしています。「〇〇ちゃんはこのマーク」「〇〇くんのはこれ！」と会話も広がりそんな様子を見て微笑ましく思います。マネっこも大好きで、「やだよ〜」という言葉がでると合唱のようにいうことがあったり、保育士と同じように友達のことを注意する事もあります。友達の存在がいい刺激になっていけたらいいなと思っています。豪快に水遊びを楽しむ子ども達。水たまりでジャンプし水が飛ぶのを見てニコニコ笑っています。今から夏が楽しみです。天気の良い日には沢山身体を動かして遊び、いっぱい給食を食べて、たくさんお昼寝をしてゆっくりのびのびと過ごして行きたいと思っています。慣れない環境で疲れが出やすくなっているかもしれませんので、ご家庭ではゆっくり過ごしてくださいね。一年間よろしくおねがいします。（今井）



もも組（3歳児）

入園、進級おめでとうございます。新年度がスタートし、ソワソワしながらも嬉しそうな子どもたち。新しい一年も、ワクワクが溢れる毎日にしていききたいと思います。園庭では、「裸足になっていい〜？」と砂やどろんこの感触を楽しみ元気いっぱい走り回っています。少しずつですが、汚れた服は自分でビニール袋を広げ着替えを入れています。食事のときは、食べた終えたお皿はへらを使ってきれいにしてから片付ける練習をしています。子ども達は何でも自分でやりたい気持ちがありますので、できる限り見守りながら、困った時は手を貸すようにしていきたいと思っています。ご家庭でも少しでいいので待ってあげ、子どもの気持ちに寄り添ってあげてくださいね。これから一年、保育園でしか経験出来ない子ども達の心に残る楽しい遊びをより多く取り入れていきたいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。（月足）



ばら組（4歳児）

入園、進級おめでとうございます。もも組と同じ部屋でばら組をスタートした子ども達。少しだけ雰囲気が変わりましたが慣れ親しんだ部屋での生活は安心感があるのでしょうか。前の部屋の環境に合わせて自然と体が動いてしまう子もいて「あれっ？」という戸惑いの表情や「ちょっと間違えちゃった」というおちゃめな表情を見せてくれています。これからの新しい環境の中でどんな表情を見せてくれるのかとても楽しみです。

元気いっぱいの子供達ですがおしゃべりも大好きです。こちらがみんなに向けて話をすると「自分の話を聞いてほしい！」という様子で身を乗り出して話し始めるのです。いっぺんに話を聞いてあげたい気持ちでいっぱいなのですがそれは難しいので、子ども達の気持ちを受け止めながらひとりひとりとおしゃべりを楽しんでいけたらいいなと思っています。1年間、よろしくお願い致します。（五味）



ゆり組（5歳児）

入園、進級おめでとうございます。「ゆり組ってどんなクラス？」と皆で話をしました。「園で一番大きい子ども」「小さい子のお世話をする」「お友達に優しくする」「ソーラン節をする」と色々な思いを聞くことができました。「年長児として小さい子を優先させたり、時には我慢しないといけないこと、みんなのお手本なんだよ」と話をするとキリッとした顔で「はい！」と良い返事が返ってきました。ゆり組になるとやらなくてはいけないことも多くなります。上手いかななくて泣いたり怒ったりすることもあるでしょう。友達と喧嘩したり、思いが通らないこともあるでしょう。沢山の心の葛藤を経験し、そこを乗り越えて成功した時の達成感はずも子どもたちがこれから生きていくことの大きな力になると思います。子どもたちの「気持ち」を大切に見守り過ごしていきたいと思っています。

保育園最後の一年、宜しくお願い致します。（滋野）